

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 当科における肝切除の手術成績の検討-特に腹腔鏡下肝切除の安全性、有効性の検討-』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

### 【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、これまでの肝切除施行例の手術成績を検討し、腹腔鏡下肝切除の有効性を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、腹腔鏡下肝切除の適応選択の正当性と安全性を確認し、今後手術を受ける患者さんへの情報提供につながると考えております。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者:2008年4月～2023年5月までに東邦大学医療センター大橋病院において、腹腔鏡下肝切除を含む肝切除を行った方172例を対象としています。方法:診療録から抽出したデータを解析します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

患者因子:年齢、性別、併存疾患、身長、体重、BMI、など

腫瘍因子:対象疾患、肝腫瘍個数、腫瘍径、腫瘍脈管(肝静脈、門脈、肝動脈)

浸潤の有無、転移性肝腫瘍の場合は原発巣の進展度

周術期因子(術後3か月):出血量、手術時間、術中輸血量、血行遮断時間、術後合併症、術後在院期間、術死

術後因子(術後3年):生存期間、補助療法開始時期、補助療法の種類、など

### 【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

### 【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、本研究の対象者に術後に死亡した患者さん、認知機能が低下した患者さんに関しては代諾者(家族の方)からの参加拒否に関しても受け入れております。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176